

日本産業衛生学会 中小企業安全衛生研究会第 49 回全国集会 (兼 新潟産業保健研究会 2015 年臨時研修会)

日 時：平成 27 年 12 月 5 日 (土) 10:00～16:00

会 場：新潟県医師会館 3 階 大講堂 (新潟市中央区医学町通 2 番町 13 番地)

主 催：日本産業衛生学会 中小企業安全衛生研究会 代表世話人柴田英治
担当世話人中平浩人

共 催：新潟県医師会、新潟産業保健総合支援センター、新潟産業保健研究会

参加費：無 料 但し、日医認定産業医研修単位希望者のみ下記の通り
・特別講演：生涯研修 (専門) 1.5 単位 1,000 円
・シンポジウム：生涯研修 (専門) 1.5 単位 1,000 円

プログラム：

【一般演題】 8 演題発表予定 10:00～11:50

【特別講演】 13:00～14:30

「中小企業の現場における生活歯援プログラムモデル事業の展開」

講師 佐藤 徹 ((社)新潟県歯科医師会顧問 産業歯科医師)
山田智子 ((公財)新潟県歯科保健協会 事務局長)

生活歯援プログラムは、新しい成人歯科健診として、受診された方の生活習慣など問題点を見つけ、一緒に改善していく「一次予防」が大きなポイントです。歯科と全身の健康との関係が多くの研究から明らかになりつつある現在、疾病と労働損失の観点のみならず、健康寿命延伸のために働く人々の口腔健康管理は重要です。本プログラムの解説と国の制度展望を踏まえ、中小企業におけるモデル事業の成果をお話します。

日本医師会認定産業医単位 生涯研修 (専門) 1.5 単位 (予定)

【シンポジウム】 14:35～16:00

「産業保健総合支援センターと中小企業の産業保健活動

ー労働衛生三管理からストレスチェックまでー」

シンポジスト 江村 文雄 (十日町地域産業保健センター コーディネーター)
保莉 幸 (新潟県産業看護部会 会長)
岡田 秀子 (新潟県農業団体健康保険組合 保健師)
野口 忠司 (新潟産業保健総合支援センター 副所長)

中小事業の産業保健活動を如何に推進していくかは、我が国の産業衛生の大きな課題です。法的整備を待つ前に、できるだけ早く有効な施策が実行されることが求められています。新潟県では、産業保健総合支援センター、地域産業保健センター、県医師会、各郡市医師会および新潟産業保健研究会が連携し合い、県内企業のほとんどを占める中小企業の産業保健に当たっています。労働衛生の基本である三管理から新たに開始されるストレスチェックへの対応まで、産業保健の現場で活躍されている方々に活動を報告いただきます。

日本医師会認定産業医単位 生涯研修 (専門) 1.5 単位 (予定)

お問い合わせ先

日本産業衛生学会 中小企業安全衛生研究会 第 49 回全国集会事務局

中平 浩人 新潟青陵大学大学院 看護学研究科
〒951-8121 新潟市中央区水道町 1 丁目 5939 番地
TEL & FAX : 025-266-9398 E-mail : nkdr@n-seiryu.ac.jp